

松本城伝説

松本城の歴史には、多くの伝説や、民話がある。「城の梁を伸ばした職人」のように、城の建築、大工、材料にまつわる話もある。また、「袖留橋の別れ」のように、歴代の城主や、城と何らかの関係がある歴史上の人物について描いたものもある。

これらの伝説の多くは、史実と民衆の空想が織り交ぜられている。17 世紀から 18 世紀にかけて、城の最奥部には上級武士以外は立ち入ることができず、ほとんどの庶民は堀の向こうにそびえる城を見つめ、そこで何が起きているのかを想像するしかなかった。「傾いた城」「松姫の悲劇」など、庶民の武士に対する心情が物語として残されている。

そのいずれもが、松本城とその歴史、そして松本に残る文化遺産の一端を示している。